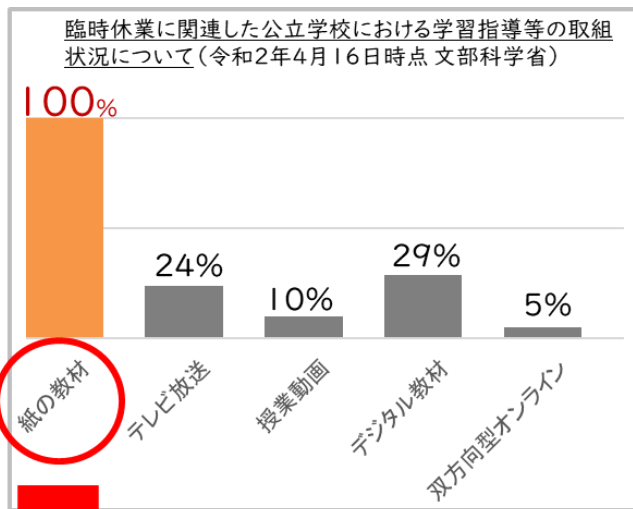


教科書を使った家庭学習のススメ 其の壱

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業が長期化する中で、児童生徒の学習保障は非常に重要であり、各学校において様々な工夫が行われていることと思います。

4月27日に県教委からお届けいたしました「テレビ放送を使った家庭学習のススメ 其の壱」でもお伝えした通り、国の調査では、「紙の教材」は全ての自治体で活用されています。



学習プリントや作文などの「紙の教材」は、全ての児童生徒が取り組みやすく、学習状況が把握しやすいものですが、臨時休業期間の長期化に伴い、**家庭学習の内容を計画的に考え、質と量を担保する**必要があります。

現在、義務教育課では、「テレビ放送」の活用に加えて、「**教科書を使った家庭学習のアイデア例**」を作成しています。

今後、継続して提供しますので、各校の取組の参考にしてください。

教科書を使った家庭学習を課す際に大切にす視点

家庭学習に適した内容となるように、ひとまず**GW明けを目途に**カリキュラムマネジメントを行う。

- ①家庭学習に適した**内容**を優先する視点
- ②家庭学習に適した**単元**を優先する視点

今号(其の壱)では、①家庭学習に適した**内容**を優先する視点の例を紹介します。



岡山県マスコット「ももち」

例	取組の具体	学習状況の把握方法と学習支援の例
国語科	漢字学習や教材の音読といった主に「知識・技能」に関わる内容 を優先する教材を準備する。 ※話し合い活動や交流する活動等は、学校再開後や登校日等で実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・進度を電話や課題提出状況(持参、メール等)で把握する。 ・登校日に小テスト等で定着状況を把握する。 ・間違えた漢字を再度練習するようにするなどの支援を行う。
音楽科	リコーダーの指使いといった主に「知識・技能」に関わる内容 を優先する。 ※合奏や演奏の工夫等の内容は学校再開後や登校日等で実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の状況を電話で確認したり、難しいところをメールで相談したりする体制を整える。 ・技能の定着状況に課題がある場合は、登校日等に支援を行う。
家庭科	学校で学んだことを家庭での実践につなげるという流れを逆 にして、料理や掃除等、家庭での実践で気付いたことをノートにまとめる課題に取り組ませる。 ※ノート等の内容を踏まえて、学校再開後や登校日等に教科書の内容理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等を準備し、提出する期日を設定した上で、登校日やメール等を利用して課題を提出させ、内容を確認する。 ・課題に取り組むことが困難な児童生徒には、教科書で参考にするページを示す。

次号(其の弐)では、実際に小学校5年生算数の教科書を用いた家庭学習の取組方法の例を紹介します。



岡山県マスコット「うらっち」